

新幹線プレス

2020年9月7日 No.485

発行者 杉澤秀則

編集者 教宣部

JR東海労新幹線地本

令和2年度実行計画「経営協議会」開催!

コロナ禍で延期していた経営協議会を開催 今後の会社の方向性について協議!

8月28日、新幹線地本は「令和2年度 新幹線鉄道事業本部 実行計画」に関する経営協議会を開催しました。経営協議会は本来4月の開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染拡大により幹事間による説明のみで延期となっていたものです。

新幹線地本は、緊急事態宣言解除後にあらためて開催することを確認しており、今回の開催に至りました。会社から「実行計画」について説明があり、その後組合側からの9点にわたる主張を基に協議を行いました。

組合側の主張の要旨は以下の通りです。

1. 新型コロナの影響により輸送量が激減している。幹鉄事としての認識と対策は。また、今年度の実行計画の変更及び来年度の運営方針、重点施策、設備投資に影響があるのか。
2. このまま新型コロナ感染症が長引けば、リニア中央新幹線建設をこのまま推し進めることは出来ないと考える。会社の認識は。
3. 新幹線における今後の運行計画について。
4. 新型コロナの影響によって社員の賃金抑制や労働条件の切り下げがあってはならない。ポーンラスについて安定的な支給ベースを基準、業績連動ではないとしてきたが変更はないか。
5. 新型コロナ感染防止対策は後手後手。具体的にどのような問題意識で取り組んでいるのか。また、社員及び関連労会社関係者への告知・周知の徹底が必要。
6. 検温で37.5℃以上で就業不可と掲示されているが、就業規則上どこを根拠にしているのか。勤務、賃金はどのようになるのか。感染または濃厚接触者となった場合の取り扱いは。
7. N700S 対応で車椅子のスロープが変わったが、使い勝手が悪く危険である。対策を急ぐべき。
8. 想定される東海地震・東南海地震・首都直下地震に対する対策は。
9. 新型コロナウイルス感染症に関する申し入れに対して一度も協議の場を設定されていないことに抗議する。労使挙げて共通の最大の課題であり、窓口回答など認められない、早急に交渉の場を設けること。